

2021年2月15日

第2回 TTPU セミナー「持続可能な新しいモビリティの実現方策について」

東京大学公共政策大学院長 大橋弘

開会挨拶

東京大学公共政策大学院長で交通・観光政策研究ユニット長の大橋弘です。本日は第2回 TTPU セミナー「持続可能な新しいモビリティの実現方策について」に、会場及びオンラインで多くの皆様にご参加いただき、主催者として厚く御礼申し上げます。

また、大変ご多忙の中、本日のセミナーに6名の方にご登壇を頂きます。

- ・ 国土交通省公共交通・物流政策審議官  
久保田 雅晴様、
- ・ 筑波大学名誉教授、一般財団法人みち研究所理事長  
石田 東生様、
- ・ みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO  
松本 順様、
- ・ WILLER 株式会社代表取締役  
村瀬 茂高様、
- ・ 国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課長  
河田 敦弥様、
- ・ 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授  
谷口 綾子様、

ご登壇の方々には改めましてこの場を借りて深くお礼を申し上げます。

本日、運輸総合研究所と日本みち研究所の共催を得て、主催をさせていただく交通観光政策研究ユニット（TTPU）は、東京大学公共政策大学院が設立した2004年にほどなくして設立したユニットでして、公共政策大学院では最古参の研究ユニットとして中核的な役割を果たしています。この15年余りの間に、公共政策大学院も大きく変貌を遂げました。当初は日本人向けの大学院でしたが、今では学生の半分以上が約30か国から構成される留学生になり、また2016年に設立した博士課程からも順調に学生が育っています。このコロナ禍でオンライン講義が定着したことを踏まえて、来年度より職業人枠も拡大すべく準備をしています。

TTPUにおいても、「国際交通政策」、「地域交通政策研究」、「観光政策概論」、「観光地域政策」といった授業を開講し、交通・運輸分野や観光分野に関する重要な政策課題について、その最新の实情等を講義及び、感染防止対策を

しっかりしたもとでの現地視察を通じて、多面的な議論を行いながら政策に関する考察を深められるよう、教育活動を行っております。私どもが政策立案や事業遂行の実務と最先端の教育・研究との架橋となるべく、活動を続けて参ることができましたのは、成田国際空港株式会社、日本空港ビルデング株式会社、空港施設株式会社、中部国際空港株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、公益財団法人日本交通文化協会などによる手厚いご支援のおかげであり、関係の皆様方には、この場を借りて御礼申し上げます。

本日のテーマにも関わりますが、交通・観光は足元ではコロナ禍で大変なご苦勞をされています。移動や対面が普通でなくなった今、持続可能な交通・観光を考えていくには、デジタル化をうまく使いながらも、デジタルにない魅力や付加価値をどう磨いていくのかをしっかりと考えないといけません。地球温暖化や米中技術摩擦など、頭に置いておく環境変化は多いですが、TTPU及び公共政策大学院は国益にかなった政策立案が行われるよう、使命感をもって引き続き取り組んでまいりたいと思います。

本日は、緊急事態宣言発令中ではありますが、万全の対策を講じながら、会場とオンラインにて公開セミナーを開催する運びとなりました。海外からも多くご参加を頂いていると承知しています。モビリティという重要テーマについて時間の許す限り、活発な意見交換が行われることを願っています。

ご参加いただいた皆様にとって有益な場となることを祈念いたしまして、簡単ではありますが、冒頭の御挨拶とさせていただきます。

本日はお忙しい中ご参加いただき、誠に有難うございます。

以 上